

湖西大学校への交換留学 月例報告書 (4月分)

留学先大学名：湖西大学校

氏名：村松果歩

◎EMC のアルバイトについて

5月に入ってから、チョナンキャンパスにてEMCのアルバイトが始まりました。普段生活しているのはアサンキャンパスですが、チョナンキャンパスでの人員が不足していたことと、往復2時間分の時給もいただけるとのことで、チョナンキャンパスでの勤務を志望しました。日本語を学びたい学生のサポートをするのが仕事内容で、週に1度2時間働いています。相手も学生ではありますが、決められたプログラム等もないまま1対1での活動になるので、初めは韓国語を話すことだけでなく、話題づくりも必要で少し苦勞しました。しかし、日本語と韓国語を混ぜながらお互いの文化の違いやそれぞれの言語について学ぶ時間は大変貴重であり、とても有意義な活動であると感じています。

◎バディプログラムについて

EMCと同様に、5月に入ってからバディプログラムも始まりました。韓国人学生とバディを組んで、韓国生活のサポートをしてもらうプログラムです。バディ申請の際には、相手に求める条件(性別や年齢など)を書くこともでき、希望が叶うようにマッチングしてくださります。私は、一つ下の女の子とバディになり、週に一度一緒に食事をしながら、お互いの言語を教え合ったり、分からないことを質問し合ったりしています。相手も日本に興味を持って申請している学生なので、比較的楽な気持ちで活動が出来ており、韓国語のテストの準備を手伝ってもらったりしました。バディの提案で、ソウルで行われるボランティア活動に参加することにしたので、次回の報告書で詳しく述べたいと思います。

◎中間考査について

私は週に4つの講義(公演企画、祝祭企画、韓国語スピーキング、ライティング)を履修していますが、祝祭企画を除いて中間考査がありました。韓国語スピーキング、ライティングに関しては、授業の難易度が低いうえに教科書の持ち込みと携帯の使用が許可されていたため、不安な点はほぼありませんでした。しかし、公演企画は韓国人学生と同様に韓国語での論述形式だったため、納得いく成果を出せなかったように感じています。中間で試験のスタイルが分かったので、期末では満足いく結果を残せるように日ごろの復習を大切にしたいと思います。

◎週末の過ごし方について

金曜から日曜は講義もなく、休息の時間です。アサンキャンパスからシャトルバスに乗って40分ほどでチョンターミナルという繁華街に着くので、週末は基本的にそこで過ごします。百貨店内に映画館もあるので、映画を見たり、友達と美味しいご飯屋さんでお酒を飲んだりすることが多いです。ソウルまで出るには時間もお金もかかりますが、ターミナルでも生活に必要な品などは十分に揃えられるので、そこまで困っていません。また、4月末にはEMCで知り合った先輩と、去年から留学している文芸の先輩と3人でエバーランドという遊園地に行きました。あいにくの雨ではありましたが、アトラクション以外にもサファリパークがあり、近くで動物を見ることができて新鮮でした。

◎今月のまとめ

留学に来てすでに2か月が経ち、時間の流れの速さを痛感しています。日々韓国語に触れる中で、聞き取れる単語や、自分自身が話すことが出来る語彙の量が増えていることが分かり、少しずつではありますが成長出来ていることをうれしく思っています。まもなく終講で休暇に入りますが、期末まで気を引き締めて、勉強にも遊びにも全力で取り組んでいきたいと思えます。

